

テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

## FF14 備忘ログ(PATCH2.0) サブクエスト



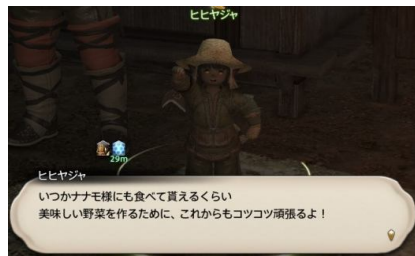
ザナラン編

中央ザナラン

## 大地の循環

**ヒビヤジャ**： 良い野菜が取れるようにするためにはね、コツコツと時間をかけて良い「土」を作って、畑の土を栄養たっぷりにしないとイケないんだ。土を豊かにするためには、ミミズに土を食べてもらって、栄養たっぷりの糞をしてもらうのが一番なんだが……。畑の地中にある「スニッピング・シュルー」が、地中のミミズを食っちゃったみたいでな、土が荒れ始めちゃった。このままだと畑が壊滅しちゃう……。お願いだ、畑の「モグラ塚」を3箇所調べてみて、出てきたスニッピング・シュルーを全部倒してくれ！

**ヒビヤジャ**： スニッピング・シュルーを倒してくれたのかい？ あんた、強いんだなあ、ありがとなあ！これできっと土に栄養が戻って、栄養たっぷりのカボチャが育てられるはずだよ。いつかナナモ様にも食べて貰えるくらい美味しい野菜を作るために、これからもコツコツ頑張るよ！



## 新作のアイデア

**ヒビヤジャ**： あんた、冒険者なら仕事を探しているだろう？ この先にある酒房「コッファー＆コフィン」に行くといい。そこにウォウオバリっていう調理人がいるんだけどなあ、そいつが新しい魚料理に挑戦中らしいんだわ。俺は畑のもんだから、魚のことは詳しくないんだけどなあ、オロボンってのは美味そうだなあって思ってたんだ。オロボンなら近くの川にたくさんいるからさ、「オロボンの白身」を4つばかりもってってやれば、**ウォウオバリ**は喜ぶんじゃないかなあ。

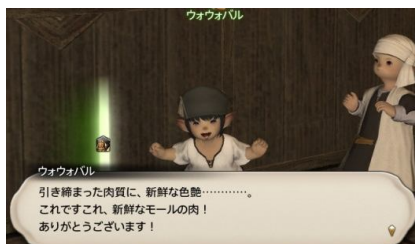
**ウォウオバリ**： うーむ、魚、魚……。なにか手頃な魚料理はできないもんかなあ……。こ、これは「オロボンの白身」……。？ 僕が魚料理を開発中って知ってたんですね！ふーむ、この艶やかな白身……。塩を振ってソデーにして、レモンをかければサッパリとしたつまみの一品になりそうだ……。じゅるり。いやー、この辺りではあまり魚類が捕れないものですから、とても助かりましたよ、ありがとう！



## 美味しい侵入者

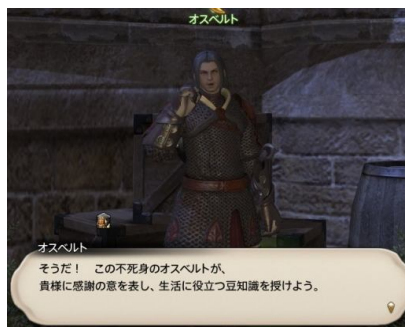
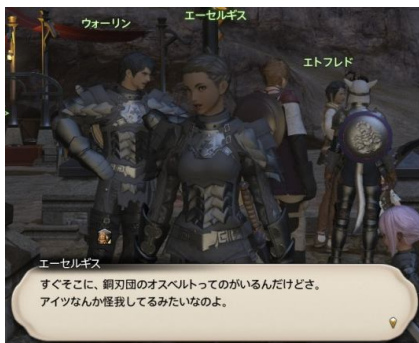
**ウォウオバリ**： ふーむ、あなたは冒険者だったんですね。でしたら「新鮮なモールの肉」の調達を手伝いませんか？ウチの名物、激旨モールローフは絶品なのですが、肝心の「新鮮なモールの肉」が切れてしまったのです。しかし、この店の外には僕が作成したアンティムド・シュルーの捕獲用の樽を使った罠がバッチリ2つ、仕掛けてあります。さあ、さっそく「樽を使った罠」を調べて、罠から出てきた「アンティムド・シュルー」を倒し、「新鮮なモールの肉」を取ってきてください！

**ウォウオバリ**： 「新鮮なモールの肉」は取れましたか？引き締まった肉質に、新鮮な色艶……。これですこれ、新鮮なモールの肉！ ありがとうございます！アンティムド・シュルーは、畑のミミズを食べて栄養豊富！ 僕の秘伝のタレとよく合う、いい肉質なんです。さ〜て、早速仕込みに入りますかね！ 貴方のお陰で調理が捗りそうだ！



## 言えぬ傷跡

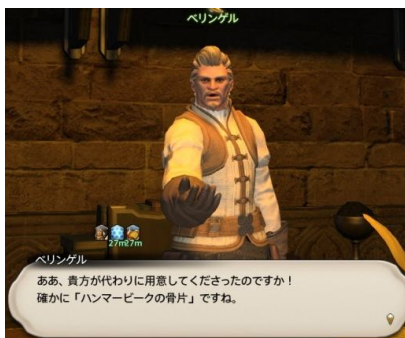
**エーセルギス**： すぐそこに、銅刃団の**オスベルト**ってのがいるんだけどさ。アイツなんか怪我してるみたいなのよ。  
鉄灯団と銅刃団って、上も違うし警備範囲も違うから、別に特別仲がいいって訳でもないんだけどさ、  
アイツ友達もいなさそうだし、不憫なのよね。  
でもアイツ、私が話しかけても無視すんのよ、感じ悪い。怪我は男の勲章なんだから、恥ずかしがる必要ないのにね。  
アンタみたいな赤の他人だったら話せるかもしれないわ。悪いんだけど「ハイポーション」を買って、  
「オスベルト」に渡してあげてくれない？



**オスベルト**： あーいたたたたた…… ぐぬぬ、ハイポーションさえあればこんな怪我……。  
この不死身のオスベルト、一生の不覚である……。  
冒険者、これ[ハイポーション]じゃないか！ 俺様の怪我に気付いていたというのだな……。  
戦場で怪我を負わず、不死身のオスベルトと呼ばれる私が、同僚や鉄灯団の人間に情けない姿を見せるわけには行かない。  
正直、痛いのをずっと我慢してたんだけどな……。 お前のおかげで、邪なる瘰に急襲されし我が額を、  
誰にも知られずに癒せそうである！  
そうだ！ この不死身のオスベルトが、貴様に感謝の意を表し、生活に役立つ豆知識を授けよう。  
俺のように、邪なる瘰に額を急襲されないためには……。 暇つぶしとはいえ、鉱石を真上にぶん投げないことである！

## 時代遅れの製錬法

**ゼゼダ**： あっ！ あんたが最近こらで活躍してるって噂の冒険者ね！ ちょっと、ついでにハンマーピークを倒してくれない？  
っていうのもさ、さっきナル・ザル教団からいきなり儀式用の銀器の依頼があったみたいでさあ。  
儀式用の銀器を作るときって、不純物の混じった銀をハンマーピークの骨灰を使って加熱し製錬するんだけど……。  
でも、肝心の「ハンマーピークの骨片」の在庫が無いのよ！  
だからお願い「ハンマーピーク」を倒して、「ハンマーピークの骨片」を8個集めてきて！  
それを施設の受付の「ベリンゲル」に届けて欲しいの！



**ベリンゲル**： まったく、**ゼゼダ**は何をやっているのでしょうか……。早く「ハンマーピークの骨片」を持ってこいと言ったのに。  
ああ、貴方が代わりに用意してくださったのですか！ 確かに「ハンマーピークの骨片」ですね。  
これで骨灰を使った「灰吹法」で銀が精錬できます！ クリスタルを使った「シャード法」が確立された今、  
こんな手間のかかる方法は、普通、使わないんですがね。  
高くって時間のかかる製錬方法を指定するということは、ナル・ザル教団も儲かってらっしゃるんでしょうね……。  
全く、羨ましい話です。

## 侵入！ネズミの巣

**ゼゼダ**： あ〜あんたまだいたんだ！ 良かった〜！ 聞いてよ、キキルンの盗人連中がまた積み荷に手を出したの！  
アイツら、キラキラした光り物が好きなせいで、すぐ積み込み途中の鉱石を盗んでいっちゃうの。  
納品物が盗まれたことが上司にバレたら、「お前の管理不足だ」って上司に怒られちゃう！  
この先に盗賊キキルンのアジト「ネズミの巣」があるの。「アマジナ印の木箱」が3箱、きっとそこにあるはずよ！  
お願い、取り返してきて！

**ゼゼダ**： 待ちましたあっ！ 「アマジナ印の木箱」は取り戻せたのね！？  
これよこれ！ よかった〜！！ ありがとう、これで今回は上司に怒られずにすむわ！  
しかし、あの盗人キキルンたちには困ったものだわ。あれでも昔は、ウルダハの都市内でまっとうに  
商売してたっていうんだから、信じられない話よね。  
まあ、ウルダハの商人たちが商売のジャマだって言って、「獣人排斥令」を作って追い出しちゃったんだけど……。  
その結果が、鬱陶しいキキルン盗賊団の結成っていう話よ。ウルダハの人達は良くても、外の私達にとっては迷惑な話よね！



## ああ、労働哀歌

**ハムンド**： あ、あ、あんた！ 手紙の配達を引き受けてくれないか？  
「ブラックブラッシュ停留所」の「ベリングル」さんが、臨時鉱夫を集めてるらしくて、俺も応募したいんだ！  
だけど今日は、かかあの看病をしなくちゃならねえ。  
俺の代わりに、この「ベリングル宛の手紙」を渡してぜひとも働かせてくれて頼んでくれ！



**ベリングル**： 私忙しくてね、要件は手短かにしてくださいね。  
ふむ、臨時鉱夫の件ですか。……書類に不備はないようだ、登録しておきましょう。  
流民はタダ同然で使えますからね、使い捨ての労働力として都合がいいのですよ。  
自分が掘り出した原石のたった一粒が、一生かかっても稼げない金額の宝石になるとは。  
……何とも世の中というのは残酷ですね。

## 盗賊の資金源を断て！

アマルベルガ：冒険者さん、冒険者さん！　どうか私たち「はぐれ銅刃団」に力を貸して！  
「キヴロン別宅跡」に棲みついた盗賊団が、どこかの鉱山から盗んだ貴重な原石を、この流民街で密売しようとしているの！  
討伐しようにも、この集落には、私と怪我をしたレオフリックさんの二人だけ……。  
どうか、盗賊団の資金源「ナナシヤマラカイト原石」を奪い、奴らの闇取引を潰してください！

アマルベルガ：目の前で悪事が行われているのに……。指を咥えてみているだけなんて……。悔しい。  
ああ！　これは……。『ナナシヤマラカイト原石』！　これで盗賊の資金源を絶つことができる！  
ヤツらもきっと大人しくなるわ。  
捨て犬同然に、ここに左遷されて数ヶ月……。劣悪な環境だけど、これからも集落の平和を守っていくわ！  
それにしても『ナナシヤマラカイト原石』……。なんて綺麗。これほど貴重な原石を、闇ルートでさばいたら、  
きっと莫大な金になるでしょうね……。



## カエルの毒は口に苦し

ブレイヴス：なあ……。あんた……。冒険者か？　結構強いんだろ？　だったらひとつ頼みをきいてくれよ。  
「トキシクトード」から「トードの毒液」がとれるんだが、こいつを2匹ぶん取ってきてほしい。  
奴らは「アンホーリーエアー」って沼沢地にいる。  
頼むよ……。このままじゃ、俺の友が死んじゃうんだ。

ブレイヴス：「トキシクトード」から「トードの毒液」を2匹ぶんだ。頼む！　友の命がかかってるんだ……。  
ああ、持ってきてくれたか！　この毒液を乾燥させてから粉末に砕くとよ、強心作用のある生薬になるんだ。  
俺の友は、もともと心の臓が弱くてな。まともな食事と錬金薬を買うだけの金さえあれば、  
こんな危ない生薬も必要ないんだが……。  
苦しんでるのは、俺の友だけじゃねえ。この流民街の住民すべてが、金と希望を無くしちゃった。  
だがこれもウルダハの現実のひとつ、光と影ってやつさ。





## 想いが生み出す力

スウィンブルース：使い込まれた武器や防具には、その使い手の想いや思念が宿される……。おぬしは、こうした話を信じるか？  
疑うのも無理からぬことだが、事実、宿された想いの力を、物質に変える方法があるのだ。  
それが、今から汝に伝授する秘技「マテリア化」である。  
思念が宿るほど使い込まれた装備品を、この秘技により、「マテリア」と呼ばれる結晶へと変化させるのだ！  
「マテリア」を利用すれば、装備の強化も可能だ。「マテリア化」を学びたいのであれば、お主にその手法を伝授してやろう！

スウィンブルース：良いか、「マテリア」とは想いの力を凝縮したもの。それゆえ、これを別の装備品へと装着することで、  
想いを受け継がせ、性質を強化することが可能なのだ。  
だが、人の想いが移ろいやすいと同様、「マテリア」が如何なる特性を持つのかは予測不能。  
汝、「マテリア」の深淵を知るがよいぞ！  
さて、おぬしは「マテリア化」を修得するわけだが、その装着には、特殊な技術が必要となる。  
熟練のクラフターに依頼してもいいが……。もし己自身の手で装着したいのであれば、  
同志「フ・ホバス」より、「マテリア装着」術を学ぶがよい。



## 想いを伝える力

フ・ホバス：アンタ、製作の心得があるみたいね。ま、手を見ればスグにわかるよ。  
アンタがもし「マテリア装着」を自分でやってみたいっていうなら……。マテリア装着について、アタイが教えてあげるよ？

フ・ホバス：いい？「マテリア装着」で、重要なことはふたつ。ひとつ目は、マテリアを定着させるために  
「コールマター」っていう触媒が必要になるってこと。  
触媒は自然界にあるから、ギャザラーに頼めば手に入るわ。自分で採集したいなら、そこにいる同志「ココサム」から  
入手方法を教わってちょうだい。  
そして、ふたつ目に知っておかなくてはいけないのが、マテリアをはめるための「マテリア穴」の存在ね。  
「マテリア穴」の数は、装備品によって違うの。通常、穴の数を超えてマテリアを装着することはできないわ。  
もっとも、何事にも例外はつきもの。「マテリア穴」の数以上に、限界を超えて装着する「禁断」の技もあるんだけどね……。  
そこは、もっと経験を積んでから、アタイの師匠「ミュタミクス」師に教わってちょうだい。  
さ、キミも頑張ってマテリアを活用してね！



## 禁断のマテリア装着

ミュタミクス： シュコオ……シュコオ……。おぬしゃ ちしきの たんきゅうしゃ〜？  
ひとつの 武具に いっぱい マテリア 特殊な道具で むりやり くっつけ〜。  
秘儀を つかえば できるぞな〜。  
知りたい だったら 鍛錬ぞ〜。マテリア くっつけ 見せるぞな〜。8回つけたら 伝授ぞな〜。

ミュタミクス： シュコオ……シュコオ…… マテリア 装着 はげんだの〜！ おぬしゃ なかなか たっしやぞな〜！  
ひとつの 武具に いっぱい マテリア せいこう しっぱい 運しだい〜 いどむも勇気 やめるも勇気〜！  
しっぱいすれば マテリア こなごな 無残に散りて 星へと帰る〜。触媒と子ども 星へと帰る〜。  
せいこうすれば マテリア かがやき 億万長者も 夢じゃない〜。いどむも勇気 やめるも勇気〜！

